

天神祭に協賛

今年も女性職員がゆかた姿で営業し、天神祭を盛り上げます

～ 地域文化の伝承・発展を積極的に支援 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、千年の歴史を持ち、東京の神田祭、京都の祇園祭と並ぶ日本三大祭りの一つである「天神祭」に今年も協賛します。

同祭の主会場に近い本店営業部と梅田支店では、7月22日～25日の4営業日の間、職員がゆかたやハッピーを着用してお客さまをお迎えし、天神祭を盛り上げます。

当金庫の天神祭への協賛は、平成元年から31年連続となります。

記

1. ゆかたやハッピーを着用した営業について

(1) 趣 旨 地域貢献活動の一環として、地域文化の伝承・発展を積極的に支援します。天神祭には平成元年から31年連続して協賛し、ゆかたでの営業も平成6年から実施し、今年で26年目となります。

(2) 実施店舗 ・本店営業部（大阪市中央区北浜2-5-4）

・梅田支店（大阪市北区梅田2-1-22）

(3) 期 間 令和元年7月22日（月）～25日（木）の4営業日

(4) 内 容 女性職員がゆかた姿、男性職員がハッピー姿で営業

2. その他

(1) 期間中、本店営業部と梅田支店では、店舗の内外に提灯を吊るなど、飾り付けるとともに、ご来店のお客さまに特製うちわや風船をお配りします。

(2) 人通りの多い天満橋のらんかんに、多数の奉納提灯を掲げます。

(3) 奉納花火にも特別協賛し、レーザー照射（※）による当金庫の紹介とともに、120発の花火を打ち上げます（中継テレビ番組も提供）。

※大きな建物の外壁等にレーザー光線を照射して文字やイラストを映し出す。

当金庫は、同祭への協賛・参加を通じて、伝統文化の保存・継承をお手伝いするとともに、SDGs（持続可能な開発目標）における「質の高い教育の提供」および「住み続けられるまちづくり」の達成に取り組み、大阪の元気を応援してまいります。

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

